



まっすぐ植えるのは難しいね

大和東小学校は、境川沿いに位置し、周囲は水田に囲まれ、米作りに適した環境です。今年度も5年生が、総合的な学習の時間に「レッツ・ゴー稲作」に取り組んでいます。梅雨の晴れ間の6月14日、地域の米作り指導者小林さんの指導のもと、63名の子どもの歓声とともに田植えが始まりました。

大きく実れ！
「レッツ・ゴー稲作」

体験活動が重視される中で大和市内の小中学校では、地域の環境の特性を生かした取り組みが行われています。

豊かな体験を 子どもたちに！



みんなで協力すると楽しいよ

一生懸命苗を手植えします。まっすぐ植えるために代綱をもつ子は、植えている子に声をかけながら、慎重に進んでいきます。見学にきた2年生の子どもたちや保護者の見守る中、1時間ほどで、およそ2aの水田に苗を植え終わりました。収穫した米をおにぎりやせんべいにして、全校児童に配ります。また、学習のまとめとして、「レッツ・ゴー稲作」をテレビ番組として制作し、放送番組づくりの体験をする予定です。



地域と共につくろう！ ホタルが飛ぶ学校

下福田中学校のホタル池は、創立20周年を記念し、引地川沿岸の裏山の湧き水を利用してつくられたものです。地域の方の協力を得て、ホタルの幼虫を二千匹以上放流し、同時にえさのカワニナを育てるなどの活動を通してホタルの保護に努めています。ホタルのほかに、サワガニ、メダカなどが生息しています。また、生徒たちが、総合的な学習の時間に取り組んだホタルの観察記録をホームページ上で発表しています。



古代人体験！ 埴輪づくり



笑っている顔を作りました
出来上がりが楽しみです

上和田小学校では、社会科の発展的・体験的学習として、土器や埴輪の野焼きを行っています。子どもたちは、自分の思いを込めた作品を自分たちの手で焼き上げていきます。



熱い！熱い！

作品を円形に置き、中心で薪を燃やして乾かしながら、徐々に温度を上げていきます。次に、燃えている火の中に作品を入れて、上にわらをかぶせ、その後、薪を積み上げて、一気に800度くらいの高温にして焼き上げます。全部で6時間ほどかかりますが、子どもたちは、協力しながら、交代で野焼きに取り組みました。

Q1 授業時間が増えるというのは本当ですか？

A1 > 授業時間数の増加は学校によって違います。教育課程等の見直しによって、研究校でも7時間から30時間の幅がありました。しかし、これまで7月、12月は、テストや成績処理で慌ただしく落ち着いて学習できないこともありましたが、十分な時間を使って取り組むことができます。

Q2 子どもたちの学習状況がわからなくなったり、テスト範囲が広がったりして、子どもたちの学習意欲が低下することはないですか？

A2 > 学期の期間が長くなった分、逆に継続的な学習が可能になります。目標に準拠した評価の導入により、今まで以上に单元ごとのテストや日常の学習レポートなどが重視されます。そのため、子どもたちが自分の目標に向かって努力できるよう、学校ではきめ細やかな評価を実施します。

学校二学期制

大和市教育委員会では、管理運営に関する規則を改正し、
学校の取り組みを支援します。

Q3 長期休業の扱いはどうなるのですか？

A3 > 二学期制に対する不安で、「子どもの前期成績で初めて不得意科目を知ったが、もう夏休みは終わってしまいました。三学期制ではこのようなことがなかったのに」ということがあります。このようなことがないよう、長期休業前に子どもたち一人ひとりの学習課題を明確にする工夫を各学校が行います。落ち着いて学習できる利点を生かしながら、評価の工夫、面談の設定、特別教室等の利用など、学習を支援する体制づくりを各学校で進めます。

Q4 修学旅行や運動会などの行事はどうなるのですか？

A4 > 学校がめざす教育活動の展開によって、これまでとは行事を実施していた時期が変わってくる場合があります。たとえば研究校では、学級づくり、集団づくりをねらいとして、運動会を天候も穏やかな春に実施したり、社会科の学習と関連付けるために修学旅行を秋に実施したりしました。なお、行事によっては地域とのつながりの深いものもあるので、その位置づけについては保護者や地域の声を聞きながら、学校が考えていきます。

Q5 中学生の場合、公立高校受験の時に不利になりませんか？

A5 > 公立高校受験に用いる中学校3年生の資料について、県では「二学期制の学校にあっては三学期制の学校に準じて、同時期までの学習状況に基づく評価・評定とする」ということになっています。したがって評価期間に変わりはありません。また、子どもたちが早いうちに自分の学習状況を把握し、夏季休業中に努力したならば、その成果が前期の成績に反映されます。さらに、評価は、日々の学習活動を重視することが基本であり、後期の10月、11月、12月も大切な時期となります。

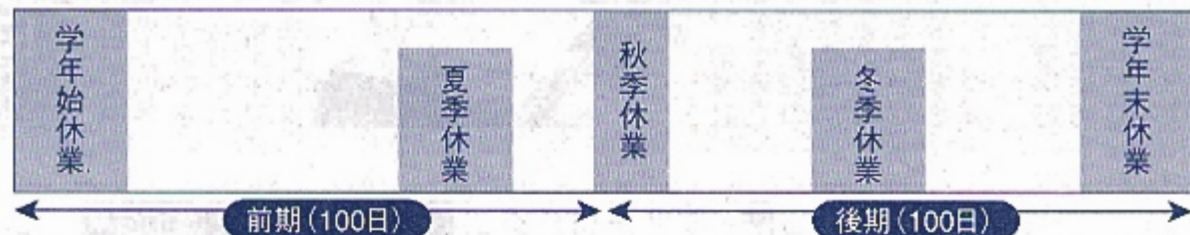


学校二学期制を推進します!

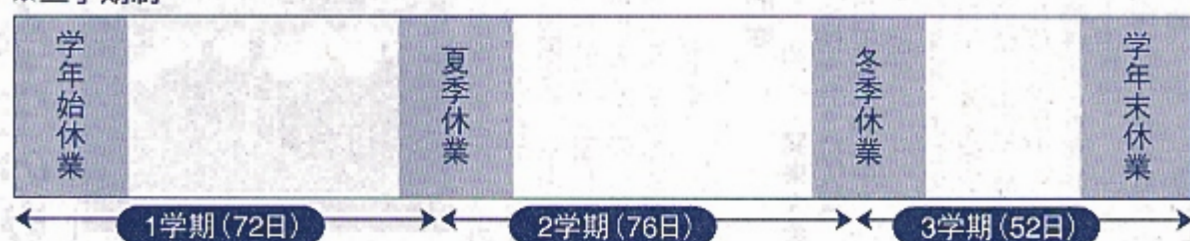
大和市立学校では、子どもたちの授業時間を少しでも多く確保し、ゆとりの中で確かな学びをはぐくむ方策の一つとして、二学期制を推進していきます。新しい発想による教育方針の見直し、長期的な視点による指導の展開など、創意あふれる学びの場を大切にします。

◎二学期制とは・・・休業期間が5つ設定されますが、三学期制と比較して総日数は変わりません。()の中は授業日数の目安です。

例 ◎二学期制



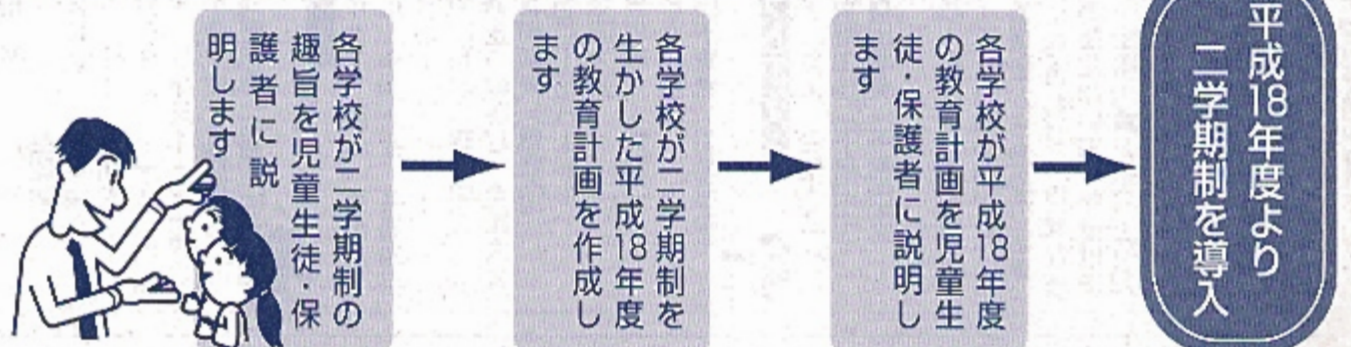
※三学期制



二学期制のねらい

- 授業時間数の増加と授業時間の充実により、ゆとりの中で確かな学びを身につけることができます。
- 学期が長い期間になるので、子ども一人ひとりにゆとり時間をかけ、きめ細やかな指導や評価を行うことができます。
- 長期休業の位置づけや、教育計画の見直しを進めることにより、教職員の新たな発想による学校の特色づくりを行うことができます。
- 学校と家庭との連携を強くした教育相談の場をつくることができます。

各学校の二学期制推進に向けての取り組み例



「育むっ、子どもたちの夢」 子どもたちの未来のために!

大和市学校教育基本計画の策定に向けて、広く市民の皆さんにご意見をいただくため、教育フォーラムを2回開催しました。

1回目は、7月16日(土)、渋谷中学校武道場で行いました。「育もう、子どもたちの夢」をテーマに、横浜国立大学教授の高橋勝先生の基調提案に続き、市民、保護者、教員の6名の方によるパネルディスカッションを行いました。「それぞれの立場で見える子どもたちの姿」と、「子どもたちの夢を

実現していくために大人と話し合いました。」をテーマに、子どもたちの側からの意見として、市内小学校6年生の「将来の夢」の発表、また、会場である渋谷中学校の皆さんご意見の発表がありました。

2回目は、9月3日(土)、勤労福祉会館3階ホールで、「子どもたちの夢を育む学校、家庭、地域、行政のパートナーシップ」をテーマに、グループ討議を行いました。

「これからの社会を生き抜いていく子どもたち」に身に付けさせた「い力や態度」と「そのために、学校、家庭、地域社会、行政では、何をすることが必要か」を話し合いの柱とし、活発な意見交換が行われました。最後に大和市として取り組んでいかなければならない重要な課題を共有しました。

なお、グループ討議の結果については、大和市教育局委員会ホームページをご覧ください。
<http://www.city.yamato.kanagawa.jp/kyoiku/>

大和市の中学生が、市内の大会、県大会を経て、県代表として関東大会、全国大会に出場しました。出場した選手名・学校名は次のとおりです。(記述がないのは関東大会のみ・敬称略)

剣道
女子 個人 関東大会優勝・全国大会3位入賞
山口美紀(光丘中)
女子 団体
山口美紀・酒匂佑佳・谷口翔子・大塚咲良・小林明杏奈・山口千晶・瀬沼あかり(光丘中)
小嶋桃子・吉村咲季子・久下由香里
内田愛里・松本麻衣・榎村麗・森千佳(下福田中)

水泳
男子 百mバタフライ
木下涼介(南林間中)
川上啓史(上和田中)
男子 二百mバタフライ
川上啓史(上和田中)
男子 百、二百m平泳ぎ
大塚昇太(つきみ野中)
全国大会
東草平(鶴岡中)
女子 百、二百m平泳ぎ
奥脇早織(下福田中)
木屋川内千穂(下福田中)
女子 四百、八百m自由形
全国大会3位、2位入賞
高田樹里亜(つきみ野中)
女子 四百mリレー 全国大会
高田樹里亜・坂田沙耶・乙藤泉・平尾奈央(つきみ野中)
女子 四百mメドレーリレー 全国大会
山根綾香・乙藤泉・市村浩美・高田樹里亜(つきみ野中)

「まなびやまと」は、開かれた教育行政の一環として、保護者、市民、教職員向けに、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。気軽にお読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

お問い合わせ 大和市教育局指導室・教育研究所 電話(260-5210・5213)

輝け! 熱く燃える 中学生の夏



決意も新たに!

卓球
男子 個人 全国大会
齋藤俊介(鶴岡中)
男子 団体 全国大会
齋藤俊介・上地豊・三浦大・佐藤亮太・柴田涼介
小森又俊・高橋謙太
河野翔貴(鶴岡中)。

陸上
3年女子 百m・百mハドル 全国大会 共通四百mリレー
中山梨沙(鶴岡中)
共通走り幅跳び 全国大会
有田奈央(鶴岡中)
共通百十mハードル 全国大会
登坂雄太(鶴岡中)
1年女子百m
山下真希(引地台中)

ソフトテニス
女子 個人 全国大会
坂野由佳(下福田中)
梅田聡美(下福田中)

8月1日には、市役所1階ロビーで壮行会が開かれ、市長と教育長から激励の言葉、会場に居合わせた市民からは、あたたかい拍手を受けました。全国大会でも、上位入賞を果たしました。

お問い合わせ 大和市教育局指導室・教育研究所 電話(260-5210・5213)